

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月30日 (2016.6.30)

【公開番号】特開2016-28074(P2016-28074A)

【公開日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-178462(P2015-178462)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/23 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/231 (2006.01)

A 6 1 K 31/695 (2006.01)

A 6 1 P 33/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/23

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 31/231

A 6 1 K 31/695

A 6 1 P 33/14

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月13日 (2016.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の外部寄生虫を殺すための薬剤の製造方法であって、

環状シロキサンを含む、非水性で揮発性の液体を提供する工程、及び

25%w/w～65%w/wの濃度であり、かつ外部寄生虫の存在する患者の領域に薬剤を投与したときに外部寄生虫を殺すのに十分な量の脂肪酸エステルを混ぜる工程であって、ここで、前記脂肪酸エステルは、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキドン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレエート、オレエート、リノレエート、リノレネート、及びアラキドネートからなる群から選択される、工程

を含み、

ここで、混合物は前記環状シロキサンを少なくとも20%含み、

前記薬剤は、患者に局所投与された場合に外部寄生虫を殺すのに有効な他の作用剤を含まない、

製造方法。

【請求項 2】

前記外部寄生虫が、シラミ、マダニ及びノミからなる群から選択される、請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 3】

前記患者が哺乳類である、請求項 2 に記載の製造方法。

【請求項 4】

前記哺乳類がヒトであり、前記外部寄生虫が頭ジラミである、請求項 3 に記載の製造方法。

【請求項 5】

前記環状シロキサンが、デカシクロメチコン、オクタメチルシクロメチコン、シクロテトラシロキサン、シクロペンタシロキサン、シクロヘキサシロキサン、及びデカメチルシクロペンタシロキサンからなる群から選択され、前記脂肪酸エステルが、ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、アラキドン酸エステル、ベヘン酸エステル、リノレエート、リノレネートパルミチン酸エステル、オレエート、リノレエート、リノレネート、及びアラキドネートからなる群から選択される、請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 6】

前記シロキサンがデカシクロメチコンであり、及び前記脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 5 に記載の製造方法。

【請求項 7】

前記脂肪酸がミリスチン酸イソプロピルである、請求項 3 に記載の製造方法。

【請求項 8】

外部寄生虫を殺すための組成物であって、

ミリスチン酸エステル、ラウリン酸エステル、パルミチン酸エステル、ステアリン酸エステル、アラキドン酸エステル、ベヘン酸エステル、リグノセリン酸エステル、パルミトレエート、オレエート、リノレエート、リノレネート、及びアラキドネートからなる群から選択される、25% w/w ~ 65% w/w の濃度の脂肪酸エステルと、
少なくとも20%の環状シロキサンと

を含み、

存在する外部寄生虫を殺すのに有効量の他の作用剤を含まない、
組成物。

【請求項 9】

前記脂肪酸エステルがミリスチン酸イソプロピルである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記環状シロキサンが少なくとも80%のデカシクロメチコンを含む、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記脂肪酸エステルが45% w/w ~ 55% w/w で存在するミリスチン酸イソプロピルであり、及び前記環状シロキサンが45% w/w ~ 55% w/w で存在する、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記環状シロキサンが少なくとも80%のデカシクロメチコンを含む、請求項 11 に記載の組成物。